

かつひら報

昭和37年11月10日・神奈川県平塚市役所発行・編集総務課 (電) 1261-1270
毎月1回 33,100部発行・全世帯配布(1部5円)・昭和31年10月3日第3種郵便物認可

NO. 132 [11月号]

主要原因は不注意

責任と被害は市民に 火災の増勢とめよう

ことしも火のこしい季節にはいりました。消防本部は、火災多発に備えて、11月26日から12月2日まで、秋の火災予防運動を展開、市民みなさんの火に対する注意を呼び起して、この冬の火災発生を事前にふせこうとしています。

消防本部の市内の火災統計では、ここ数年の傾向である火災発生件数の増加は、ことしにはいつてもとまつておらず、この先厳重な警戒が必要だということです。ただ、いままでのところ、発生件数の増勢も軟調を示し、消火損害額の面では昨年より大きく下まわったという点で、防火への絶望感もなく、それだけに、今期の火災予防運動は本当の市民運動にしたいと考えられています。発生件数が多くなっているのに損害額がすくなくなつたということの原因には、早い通報など市民の協力とあいつて第一に、消防力の充実があげられてよいといえましょう。しかし、これと決してほめられた状態だとはいえないはず。予防消防ということがありますが、出して消すより、出さない注意と工夫こそ先決だ、とはすべての人がすでに承知している道理です。まれには不可抗力の失火もありますが火事の大半は、火をナメタ報いかな不注意が原因になつています。火災予防運動は消防本部のお祭り行事ではなく、もては困る財産をおもちのみなさんの運動です。出火の責任はみなさんにあり、その被害もまたみなさんが負うはずのものです。火、電気、ガス、燃料、火あそび等々、この運動期間中に、もう一度入念に安全を確認しておくべきです。この運動期間中、なぜ火災があるのかを、ばかばかしくても、もう一度よく考えてください。なぜ火災があるのか……「世帯、事業所がふえたから、火災発生件数も多くなつた」ですまされてよいものか、もちろんそれが事実ではありますが、だとすればその事実がゆがんでいるのです。まちの人口はまちがいになく、しかも急激にふえていきます。このままだけは、やがて火事は平塚の花とうたわれるようにならないとも限りません。ここで行なう火災予防運動は、その一歩手前で火災の増勢をくいとめるために、絶対的手段はなにかをえらぶ機会であるといえます。

11月26日から秋の火災予防運動



▷今月の主な記事◁

- ▽②ページ・大神清掃作業所し尿処理増設工事着工、第3回平塚市産業まつり案内、旭小の校庭拡張、消防士募集など。
- ▽③ページ・富士見公民館、観音橋上部工事など着工、中小企業に資金貸し出し中、37年度第2号追加更正予算の内容、基本選挙人名簿を公開中など。
- ▽④ページ・農業共済の市移管完了、選管9月15日現在の有権者数を発表、小見マヒ・シフテリヤと百日せきの予防注射日程、明年度市県民税の戸別実態調査のお願い、市税の納期など。
- ▽⑤ページ・教育委員会発足10周年記念式典、全国PTA大会、名木古木の調査、心配ごと相談室、広報特派員など。
- ▽⑥ページ・信用保障料の補助、密造酒をなくそう、国民金融公庫で事業資金利用のおすすめ、相談室、推計人口、新平塚風土記、神奈川県漁業調整委の選挙人名簿公開など。

戸川 貞雄

美化運動についての組織はできました。いわゆる官民一体となつての実現はできていないのが、これがいわれる所です。おわつては何にもありません。要は、平塚市について言えば、愛の情をもつて、わが市を美化し浄化する、そしてここに住み、ここに生きる市民としての責任を分かちあうことです。

美化運動についての組織はできました。いわゆる官民一体となつての実現はできていないのが、これがいわれる所です。おわつては何にもありません。要は、平塚市について言えば、愛の情をもつて、わが市を美化し浄化する、そしてここに住み、ここに生きる市民としての責任を分かちあうことです。

オリビックスを愛機に、国や県が、さき進歩の整備した都市の美化だ、高唱しはじめたのは、高唱しないよりはましでしょうけれど、むしろこれらはだんの行政上の心がまえから、そしてだんの社会道徳心から、お互いが努力すべきことではないでしょうか。しかし、高唱しなによりは結構で、高唱する以上、実行をもちたすための努力は払わねばなりません。

ある大学教授は、都市の生活条件から立論して、都市の浄化は、ひとえに都市の責任において行なうべきだと主張されましたが、しかし同時に、自分たちの住む環境の浄化は自分たちの努力によつてもたらさねばならぬ、という前向きな態度は必要です。たゞ、山の中の一軒屋暮らしなら、塵芥処理も尿処理も、自分ひとりの問題です。それが自分ひとりの問題です。それなのに、都市生活のせいで、要するに問題であつて、集団生活を営む都市民自身も、社会生活の常識からいって、われわれは、市の責任で、ですみません。

都市生活によつて保証されたお互いの共同生活のなかで、生活の安定と福祉の向上を計つてゆくのである限り、自らの生きている生活環境をより美しく明るく楽しいものにするための努力は、おしむべきではないでしょうか。いんや、市の責任に転嫁して、自分の台所の厨芥を、お隣りの空地へ投棄したり、公園を荒して、市の公園管理の意図を非難したり等々、ややもすれば、市民としての責任と自覚をたすに上げて、他を非難する傾向があるのを、わたしは好ましくありません。

専門の学者や先進都市の担当者たちの、有益な講演や報告が盛りだくさんにあり、大いに得るところがあつたのですが、いずれも共通のなやみを克服して、われわれの住む都市の生活環境を美化する努力は、並大抵ではないことを覚えておきました。

環境の浄化は
各自の努力で

市長日記



496

498

中企業 払い込み額の二分の

進和学園(園長出縄明氏・精薄児収容施設)に交付することになりました。新設条例の適用第一号というわけですが、進和学園ではこれを、こで新設する園児補導室の建設と同内部施設受容の一部にあてることになっています。

十萬圓補助

社会福祉法人助成

い者で、資本金または出資の総額が千円以下であり、②市内二年生上事業所をもち現に營業しており、③市税を納めている者である。

▽申請手續は、保証書を払込んだとき取り扱い金融機関と保証現金に受取所を経由して申請書を提出→商工課に提出→是れによりことなつてゐます。

さきの市議定例会案「社会福祉法の形成に関する条例」が成立した。社会福祉法に對しは、社会福祉事業法の規定にも、社会福祉法の規定にも、さう意圖補正を他の道がひらいてゐない。社會福祉法に對しては、社會福祉事業法の規定にも、社會福祉法の規定にも、さう意圖補正を他の道がひらいてゐない。社會福祉法に對しては、社會福祉事業法の規定にも、社會福祉法の規定にも、さう意圖補正を他の道がひらいてゐない。

消防署と一分団

は、十月に新鋭消防車二台を購
入、消防署と消防団第一分団（植
木）に配置しました。

あたらしく配置した消防車は、
一九六二年式ニッサンFR四〇（
型）三ツサンジュニアで、ソフト
型吸水管九分二本を装備し遠距離
でも吸水できる高性能中型車
です。

人口總數	116,648
世帯總數	26,298
市域面積	67.88Km ²
人口密度	1,718
前月比・世帯増	18
人口・社会増	99 自然増 110
本庁	72,704 (世帯17,518)
大野	21,088 (" 4,502)
神田	4,614 (" 953)
津島	1,918 (" 341)
岡崎	1,560 (" 277)
金田	2,165 (" 428)
旭	4,353 (" 866)
土沢	3,805 (" 620)
金目	4,442 (" 793)

— 10月1日現在 —

一度盗んだことがあります。

市教育研究所

室で扱った実例から

問い 私はこの子の担任ですが、一学期にはいつから連絡はないのですか？

答へ ばたは叱るだけではいけません。いまだでも子供である、考える類

持たせるような指導方法をお願いします。

お答え 中学二年もなれ

家庭は母

では学校へ行ってゐるのかと訊いておましました。この様子をお聞かせなされたら驚きました。母が本心に聞いたところあるふやなので、きつて此つをうやうや。またこの子は学校では絵空事な生活なのですか。校外では手ヤツ生活なやつて食物を一度盗んだことがあります。

見を持つてゐる。その理由を尋ねて、母は考へ方に導いて行くべきです。それは、学より家の方が良い。密めは、母だにこの本での長、姉し合つてが切です。学校では頭固く得意のことです。で、親でやること。肝要。

担当 横濱国大 清水先生

投稿には住所氏名職業を明記のこと。広聴用紙も転載します

民生委員宅に
証明用紙を
無職証明や扶養証明をもらう

月 日

月...
日...
年...

△進和

百田・小松和夫氏（平塚）
▽進和学園へ…一千円・高尾

三三三

心からのお札にかえて、福祉費
計へ寄せられ、義志三万をきり

事業資金が必要な方へ…



(国民金融公庫)

／運転資金・設備資金の相談は、国民金融公庫の支所・代理店へ

貸付対象……………事業資金が必要な方	期間…3カ年程度・返済方法…月賦
貸出限度……………個人・100万円以内	保証人………1名以上を必要とします
" 法人・200万円以内	担保…100万円以下の場合は原則と
利率…年9歩（日歩2銭4厘6毛）	して必要としません。（商工課）

若泉と句碑

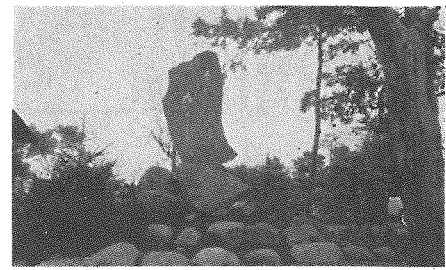
高 懸 慎 吾

平塚市下島山梨根一氏の家の前に根府川石の句碑が建っている。氏の鑑父岩吉翁のもので「花吹雪ざりとて風もなかりけり。若泉」と彫つてある。

らんまんとききみだれている桜の花が風もないのに吹雪のように散つている場面の吟で表現のものとも作られている。

のおもしろい作である。

翁は下島村の素封家山梨安兵衛の長男として安政5年(1858)に生まれ育ちの町屋造りの坪花に酷似した雪国湯島泉と号した。のち隣城小嶺村の俳人昆亭亭甫(代議士故福井半造祖父)に師事、文政で鶴立庵亭造・松根・宇山の三師に従って俳諧を学び明治大正を通じて相模俳壇の中心存在とされた。傍ら永らく城島村長・中郡会議員等を兼ね



花吹雪さりとして風もなかりけり……